

ロレーヌ地方モーゼル県: ヨーロッパの十字路

I-旅のディスティネーション: ロレーヌ地方モーゼル県

1) ロケーション

ロレーヌ地方はヨーロッパの地理的要衝にあり、フランスで唯一、欧州の三つの国（ドイツ、ルクセンブルク、ベルギー）と国境を接しています。

ロレーヌ地方の中心都市メッス Metz は、パリ、ナンシー、ルクセンブルク、ストラスブールといった大都市から近く、32万2千人の人口を抱えています。

2) アクセス

a) 飛行機

パリ・ドゴール（ロワッシー）空港から TGV（超高速列車）東ヨーロッパ線
ルクセンブルク空港からバス（または車）
フランクフルト空港（ドイツ）からバス（または車）
ストラスブール空港（フランス）からバス（または車）

b) TGV 東ヨーロッパ線（320 km/h）

パリ東駅～メッス・ヴィル Metz ville 駅：1時間20分
パリ・ドゴール（ロワッシー）空港～ロレーヌ駅：1時間10分
ルクセンブルク～メッス：40分

c) バスまたはタクシー

パリ発：シドラーSchidler 社のバス

II- 観光の見どころ

文化遺産

ロレーヌ地方の中心都市メッスは 3000 年の遺産をもつ町です。その筆頭にあげられるのがサン＝テティエンヌ大聖堂 Cathédrale Saint-Étienne。1220 年から 1520 年のあいだに建立されたこの大聖堂は見事なステンドグラスで飾られており、13 世紀から 20 世紀に至るステンドグラスの制作技術を目にすることができます。作品は 6,500m² の大ステンドグラスを制作したヴァランタン・ブッシュやシャガールなど、高名な芸術家が手がけたものです。

メッスの町を観光すれば、ガリア＝ローマ時代の遺跡や中世の歴史的建造物のほか、18 世紀から現代にいたる、統一感を重視した街並みを堪能することができます。

また、サルブール地方美術館 Musée du Pays de Sarrebourg でシャガールの作品に出会えます。美術館には、ニューヨークの国連本部に飾ってあるステンドグラスの下絵を元にした「平和」というタイトルのタピストリーが所蔵されています。さらにもう 1 か所、コルドリエ礼拝堂 Chapelle des Cordeliers には、同じく「平和」と題されたシャガールの大きなステンドグラスが飾られています。

メッスのクール・ドール美術館 Musées de la Cour d'Or には考古学、建築学、美術関連のコレクションが一堂に集められています。そのフランス有数の充実した所蔵品には、メロヴィング朝およびカロリング朝時代のコレクションも含まれています。

2010 年初頭には、コンテンポラリーアートの殿堂となるポンピドゥーセンター（パリ国立近代美術館）の分館がメッスにオープンし、そのコレクションが展示されることになっています。

国境を越えたネットワーク “境界なき庭園 Jardins sans Limites ”

園芸に対する地域の強い伝統に支えられ、さらには庭園の現代的なビジョンを追及しようと、10 年前にフランス、ドイツ、ルクセンブルクが協力して発足したこのネットワークは、テーマ性をもつ 26 の庭園を必見の庭として紹介しています。

メッス近辺では、ラクネクシー村 Laquenexy の果樹園が見学を受け付けています。4 ヘクタール近い面積をもつこの果樹園では、テーマごとに区切られた 14 のスペースを通じてさまざまな味を紹介するコースが設けられています。ハーブガーデン、食用の花々を集めた庭、“好奇心旺盛な人”のための菜園、さらには禁断の庭などで、ありとあらゆる味に出会えます。

火が作り出す芸術

ロレーヌ地方は何世紀ものあいだ、工芸品の技術の高さで世に知られてきました。陶芸家やガラス職人が、長年にわたりさらなる技術を追い求め、モーゼルの手工業の名声を全世界にとどろかすことになる傑作の数々を生み出してきたのです。

- サルグミンヌ村 Sarreguemines : 1790 年創業の陶器メーカー“サルグミンヌ”があります。

モーゼル県観光局

Comité Départemental du Tourisme de la Moselle
2-4, rue du Pont Moreau – BP 80 002
57003 METZ cedex 1 - FRANCE

- サン＝ルイ＝レ＝ビッシュ 村 Saint-Louis-lès-Bitche : 400 年以上にわたりガラス・クリスタル工芸の技術を守り続けてきた村。1586 年、この村にフランス初のガラス工場“サン＝ルイ王立ガラス工房 les cristalleries royales de Saint Louis ”が設立されました。
- メイゼンタール村 Meisenthal : ナンシー派のリーダー、エミール・ガレがここでガラス工芸界の巨匠の一人となりました。ガラス工芸は現在、クリスマスツリーの飾り玉など、現代的なクリエーションへと発展しています。

美味しい食べ物&宿泊施設

モーゼル県にはミシュランの星をもつレストランが 10 軒あり、うち 1 軒が 3 ツ星レストランです (バレンタル Baerenthal にある“ランスブール L’Arnsbourg”)。これで県内にはミシュランの星が総計 12 個あることになり、フランスにおいて最も食べ物が美味しい県の一つに数えられています。

モーゼル県が誇る味や風味はさまざま、モーゼルワイン、ブーレのマカロン、さまざまな形態で食べるミラベル、ここでしか作っていないハム・ソーセージ類などがあります。

また、食べ物の種類も豊富で、チーズ、キッシュ・ロレーヌ、ポテ (塩漬けの豚肉を野菜で煮込んだ料理)、フォワグラ、魚などがメニューに並びます。食事を締めくくるスイーツとしては、ミラベルやプルーンのタルト、ジャム、レモネード、ハチミツなどがあります。

宿泊施設もバラエティーに富んでおり、こだわりの強い要望にも対応可能です。この 3 年間に 3 軒の 4 ツ星ホテルがオープンしたここモーゼル県は、さまざまな個性やスタイルをもつ宿泊施設を豊富に抱えています。

2009 年に開催される展覧会『エミール・ガレ 自然と象徴主義—日本の影響』 - Emile Gallé, nature et symbolisme – Influences du Japon

ロレーヌ地方はもちろんのこと、日本や Санктペテルブルグ、デンマーク、ドイツ、アメリカの高名なコレクションから集められた 150 を越す作品を展示します。展覧会では、ガラス工芸品、陶器、家具、そしてデッサンを通じて、エミール・ガレと日本のあいだの文化的な関連性を明らかにします。

III-モーゼル県観光局の連絡先

モーゼル県観光局 Comité Départemental du Tourisme de la Moselle
2-4, rue du Pont Moreau – BP 80 002
57003 METZ CEDEX 1
France

プレス担当部署
+33 (0)3 87 37 59 80
infopresse@moselle-tourisme.com

レジャー観光担当部署 « Loisirs accueil »
+33 (0)3 87 37 57 66
christine.capla-munsch@moselle-tourisme.com

モーゼル県観光局
Comité Départemental du Tourisme de la Moselle
2-4, rue du Pont Moreau – BP 80 002
57003 METZ cedex 1 - FRANCE